

## みずほCustomer Desk Report 2018/03/07号 (As of 2018/03/06)

国際為替部 為替営業第二チーム

### 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.28
TKY 9:00AM	106.26	1.2337	131.13	1.3847	0.7765
SYD-NY High	106.47	1.2420	132.01	1.3929	0.7842
SYD-NY Low	105.86	1.2328	130.61	1.3817	0.7757
NY 5:00 PM	106.11	1.2405	131.70	1.3886	0.7829
NY DOW	24,884.12	9.36	日本2年債	-0.1700	0.00bp
NASDAQ	7,372.01	41.30	日本10年債	0.0500	1.00bp
S&P	2,728.12	7.18	米国2年債	2.2519	1.21bp
日経平均	21,417.76	375.67	米国5年債	2.6528	0.85bp
TOPIX	1,716.30	21.51	米国10年債	2.8854	0.37bp
ソコ日経先物	21,635	220.00	独10年債	0.6735	3.00bp
ロンドンFT	7,146.75	30.77	英10年債	1.5205	2.45bp
DAX	12,113.87	0.00	豪10年債	2.8050	8.75bp
ハンセン指数	30,510.73	624.34	USDJPY 1M Vol	8.58	▲0.08%
上海総合	3,289.64	32.72	USDJPY 3M Vol	8.65	▲0.01%
NY金	1,335.20	15.30	USDJPY 6M Vol	8.80	▲0.01%
WTI	62.60	0.03	USDJPY 1M 25RR	-1.20	Yen Call Over
CRB指数	196.76	0.09	EURJPY 3M Vol	8.83	▲0.06%
ドルインデックス	89.51	▲0.57	EURJPY 6M Vol	9.10	0.01%

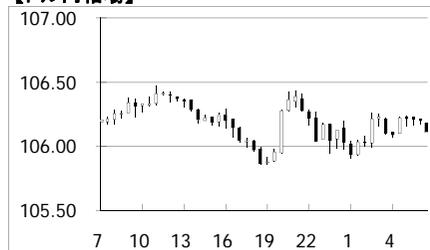
### 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月6日	12:30	豪日	RBAキャッシュレート	1.50% 1.50%
			黒田日銀総裁 「2019年度に直ちに出口を迎えると言ったわけではない」	
			韓国大統領府 「北朝鮮は朝鮮半島非核化への意図を明確に表明した」	
3月7日	0:00	米	製造業受注(前月比)	1月 -1.4% -1.4%
	0:00	米	耐久財受注(前月比)・確報	1月 -3.6% -3.6%

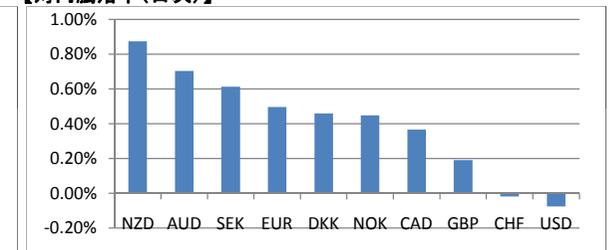
### 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月7日	9:00	米	ブレイナードFRB理事講演	
	10:30	米	カプラン・ダラス連銀総裁講演	
	19:00	欧	GDP(前年比)・確報	4Q 2.7% 2.7%
	22:00	米	ボスティック・アトランタ連銀総裁講演	
	22:15	米	ADP雇用統計(前月比)	2月 200k 234k
	22:20	米	ダドリー・ニューヨーク連銀総裁講演	
	22:30	米	貿易収支	1月 -\$55.0b -\$53.1b
3月8日	4:00	米	ページブック公表	

### 【ドル円相場】



### 【対円騰落率(日次)】



### 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.20-106.20	1.2370-1.2470	130.60-131.60

### 【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円はやや下落。欧州時間に入り、一時106円台を割り込む場面があったものの、北朝鮮が非核化について米国と対話する姿勢を示したと韓国が表明したことを受け、北朝鮮を巡るリスクが和らぎ、ドル円は106円前半に上昇し、その後は伸び悩み展開となった。本日のドル円は上値重く推移すると予想。朝方に米国家経済会議のCohn委員長が辞任するとの報道を受け、ドル円は105円半ばに急落している。本日はリスク選好姿勢が後退し、ドル円は105円台半ばで上値重く推移しそうだ。

東京	前日海外時間にライオン米下院議長がトランプ大統領の関税導入計画に反対表明したことを受け、早期アジア時間はドル買いが進行。東京時間も106.26レベルでオープン後、ドル買い優勢の流れを引き継いで始まり、一時106.47まで上昇した。午後になると、クロス円の上昇が失速したことに連れられ、ドル円も下落する展開に。日経平均株価が上げ幅を縮小させたことも重石となり、結局106.19レベルで海外時間に渡った。なお、正午すぎから始まった参議院所信聴取後の質疑では、黒田日銀総裁が「(2日の同氏発言について)直ちに出口を迎えると申し上げたわけではない」「2%の物価上昇率達成までマネリーベースの拡大を続ける」と発言したが、特段目立った反応は見られなかった。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.19レベルでオープン。欧州勢参入後、19年に直ちに出口を迎えるわけではないとの日銀総裁の説明が再度意識されたが、19年以降のテーバリングを否定しなかったと解釈され、ドル円は一時105.86まで下落する場面が見られた。しかし、韓国大統領府が、北朝鮮との首脳会談を4月末に実施すると発表し、北朝鮮が非核化や関係正常化に向け米国と対話する意向があると伝わると、リスク回避姿勢が弱まり、106.43まで上昇し、106.27レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.2348レベルでオープン、スウェーデン中央銀行のオルソン副総裁が、国内インフレとインフレ期待は中銀目標の2%にあり、利上げを開始すべきとの見解を示したことから、欧州通貨の括りでユーロも買われ1.2414まで堅調に推移。1.2409レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	106.27レベルでNYオープン。朝方は堅調にスタートした株式市場がマイナス圏へ下落する展開に円が買い戻され105.95まで下落。10時に発表の米2月製造業受注、耐久財受注は予想と一致しドル円の反応は限定的となる。午後に入り、共和党のパーデュ上院議員が「トランプ大統領は関税の変更に対してオープン」と話したこと、円売りが優勢となり106.26まで戻す。その後は方向感の無い推移が続く中、終盤に掛けてトランプ大統領の「鉄鋼には関税をかける」との発言が伝わったものの、ドル円の反応は限定的となり、106.11レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.2409レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くも、正午前にドル売りが優勢の展開となり、1.2420まで上昇するが、午後は1.24ちょうど付近での推移が続き、1.2405レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 濱坂本